渦電流探傷試験、超音波探傷試験及び漏洩率試験に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム会合における指摘事項への回答（その2）（JEAG4217-2018）

令和3年2月5日
（一社）日本電気協会
原子力規格委員会

標記につきましては、以下の通り回答いたします。

〇説明依頼事項

（第 3 回会合）

1．JEAG4217-2018「原子力発電所用機器における渦電流探傷試験指針」

（資料 3-1 p5)「一般に，焼鈍によって磁気的性質が改善され透磁率のばらつきは低減されます。」について説明している文献について説明すること。

（回答）

本説明については，下表に示す図書に「これらのゆがんだ結晶格子の材料は，焼鈍することによりその歪みを除去することができる。それによって再び透磁率が増加し，磁気的性質が改善されることになる。」とされていることに拠ります。

項番	著者，文献名など	備考
図書 1	社団法人日本非破壊検査協会　渦流探傷試験 II，P31	平成 21 年 3 月 20 日 1995 年版第 11 刷発行